

# 箕島高等学校

実施日時	令和3年 11月17日(水) 14:00~14:50
参加者	本校1年生 141名、教職員 16名、PTA 役員 8名 計 165名
実施内容	地震及び津波の被害についての講義・高台(避難指定地点)への避難訓練

## ねらい

本校は有田川の河口近くに隣接し、地震による倒壊被害以外に、津波による甚大な被害が想定される。南海トラフ大地震を想定し、学校にいるときに地震が発生し津波警報が発令された場合、どのような行動をとるべきか、事前に話し合う機会を設け、地震・津波から命を守る防災対策、減災対策についての意識を高めた。

## 主なプログラム

本校1年生全員が体育館に集合し、教頭から防災についての講話を受けた。実際の津波の状況やシミュレーションの映像を通して、もし本校に津波がきたらどのような状況になるかを想定し、津波被害に遭わないために避難はどうすればよいか、どのようなことに注意すればよいのかなどの説明を受け、生徒自身が考える機会を持った。また、登下校時使用している通学路で倒壊しそうな壁や建物はないか、落下しそうな看板や樹木はないか、もしもの場合、家族でどこに避難するかなど、日頃から防災について意識を持つことが身を守る行動に繋がることを確認した。

体育館での講話終了後、津波を想定し、正・副担任の引率でクラス単位の避難訓練を実施した。避難指定地点に定められている学校北側にある愛宕山の海拔20mの地点を目指し、生徒たちはクラスでまとまって避難行動をとった。避難経路途中にある県道(望月線)は、普段から交通量が多く生徒たちが横断するのに混雑していたが、PTAの皆さんの協力のおかげで、事故もなく安全に通行す

ることができた。しかし、実際に災害が起こった際に、さらに状況は混沌としていると思われるため、今日の訓練をもとに、実際の避難の時に役立ててほしい。



(避難指定地点まで避難経路確認)

## その他の取り組み

### 救急救命講習

本校では、例年、1年生を対象に救急救命講習を受講することとしている。

クラス単位で隣接する有田消防署の消防士の方から直接説明・講習を受け、班別に各全員が心臓マッサージの方法、AEDの正しい取り扱いを体験する等、応急心肺蘇生法を7月に学習した。



### 防災・減災についての展示

11月12日に実施した文化祭において防災・減災に関する展示ブースや、防災や減災についての理解を深めた。

## 成果と課題

### 【成果】

- 日頃から防災に対する意識を持つことで命を守る行動が出来ることを知った
- 地域の防災マップから危険な地域を知ることができた

### 【課題】

高校に入学してすぐ避難訓練を実施するとともに、学校周辺地域のハザードマップを用いて、地域防災・減災の意識を高める上で有用であると思われる。継続して実施するとともに、次年は、新たな取り組みも検討したい。

